



# ハートフルナース

## 元EPA看護師候補者

## 再挑戦にて合格

今年、受け入れ支援していた元EPA看護師候補者の中から合格者が1名出ました。一度はあきらめていた日本での看護師国家資格取得を日本アジア医療看護育成会の支援により、見事実らせることができました。今後の活躍が楽しみです。



合格したサマリアさん

日本アジア医療看護育成会では、2月4日より医療法人偕行会法人本部（名古屋市中川区）にて元EPA看護師候補者6名の受け入れ支援を行っています。看護師国家試験まで2週間弱と短い期間ではありますが、日本語講師平井先生の指導の下、6名皆必死で勉強に取り組んでいました。日本語という言葉の壁がある中で、今回1名の合格者が出たことは、とても嬉しく感じています。今後も日本の医療について、さらに知識を深めて欲しいです。

## みなさんの支援に感謝したい



今後について話す、サマリアさん

見事合格した、サマリア。シャハンさんは、「再受験には悩んでいましたが、日本アジア医療看護育成会の方や周りが応援してくれたので、頑張ることができました。まだまだ日本語が苦手なので、合格したら日本で働きながら日本語をもっと上手になりたいです。本当に支援してくださったみなさんに感謝しています。」と語ってくださいました。

国家試験では、外国人候補者に時間の延長や問題文の漢字に振り仮名をつけるといった特別措置があったそうです。その点については、「振り仮名がついたことにより、問題が解きやすくなりましたが、文章の長い問題が多く、理解に難しい点もありました。」とサマリアさん。外国人にとって日本語が壁になっていることがわかります。

今後についてサマリアさんは「日本の医療環境は非常に良いので、日本で働きながら技術を身につけていきたいです。」と、日本の医療技術を習得し、母国の医療水準アップに貢献したいと意気込んでいました。

日本アジア医療看護育成会では、今後もこのような日本の医療を学びたいという意欲的な元EPA看護師候補者たちの支援を続けてまいります。